

The Alumnae News of

ノートルダム清心
同窓会会報

ND Seishin School 52

特集 ノートルダムホール・講堂および教室棟完成



小根森直子 (23期)

ごあいさつ

同窓会会長 岩崎恵子

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

己斐の丘では若葉が萌え立つ季節を迎え、薫風が吹き渡っております。その中に一段と、新講堂「ノートルダムホール」が輝いています。大勢の同窓生の格別なご支援、ご協力を賜り、昨年七月の総会で今崎成志校長先生に、建設資金及び緞帳一式制作費として三千五百万円お渡しいたしましたことを、謹んでご報告申し上げます。

なでしこの絆とぬくもり

前学校長あいさつ

前名誉会長 今崎成志
前学校長

なでしこの花に添えて

清心の丘も若葉に彩られ、未来を担っていく生徒たちの姿と重なって、生命の力強い息吹を感じることでできる季節となりました。同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。皆様より多大なご支援を頂戴した新ホール・ノートルダムホールも無事完成し、一月の祝福式、二月の落成式を経て、現在は小聖堂、英語科、進路指

げます。お蔭様で、二〇一七年十二月には千二百人を収容する大講堂と図書館、大講義室、小聖堂などを併設する素晴らしい「ノートルダムホール」が完成いたしました。明けて二月三日には落成式が盛大に行われ、生徒、ご来賓の方々、保護者、諸先生方で一杯のホールに圧倒されました。真新しい緞帳は明るい色調で、同窓生、在校生の一人一人がなでしこの一つ一つとなり、強い絆でゆつたりと結ばれているイメージのデザインで、京都の川島織物の制作です。

導部、図書館も移動し、様々な教育活動の場となっております。同窓会よりご寄贈いただいた緞帳は、新しい講堂に上品な華やかさを添えてくれてあります。多くのご厚志を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。緞帳に描かれたなでしこの花を見るにつけ、「心を清くし愛の人であれ」という教育理念を掲げるノートルダム清心という学校が、これからも、社会の良心として咲くことのできる生徒たちを育てる場であることを願ってやみません。

二月二十八日には同窓会入会式があり、六十三期生百七十六人を迎えました。同窓会員は総勢一万八百余人となり、いよいよ大所帯です。六十三期生一人一人の幸せを願いつつ、同窓生の親睦を図る、母校の発展に寄与する、社会に貢献するという同窓会の基本理念を改めて肝に銘じたことでした。四月には可愛らしい六十九期生が入学し、五月の学園祭・バザーの準備が始まっています。今年も着工が終了したので、会場も着工前の場所に戻り、バザー会場は高校校舎大会議室、うどん・ラーメンはノートルダムホールと高校校舎の間の中庭で開催の予定です。今年もラフメンも復活するので楽しみにしてください。五月二十六日(土)・二十七日(日)開催予定です。新しい緞帳や在校生の活躍、懐かしいお顔などをご覧になり、皆さまお誘い合わせて是非ご来校ください。



「表紙のことば」
二十三期 小根森直子(三管遊)
すり鉢状にデザインした珊瑚ミズキは日本では野生のものを見たことがありませんが、ニューヨーク郊外を走る電車の窓越しに果てしなく広がる自生地に出会ったことがあります。周りに浮遊させたヒペリカムの実は、その荒地で見た風に流される葉っぱや花びらを表現しています。フラワーアレンジメントを仕事として二十五年になりますが、いつもは依頼者の意向や予算を念頭に入れての制作となります。「なでしこの会」では自由に創造できるので毎年楽しみにしています。六十歳を目前にして、これからは時間的にも精神的にも遊びのある人生を送りたいという願いを込めた作品です。

個人情報取り扱いについて
登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意がある時及び会長が必要と認めた時以外は開示しません。

ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来通り受け付けます。



昨年七月三十日(日)、第六十二回同窓会総会が開催されました。

第一部は「マザー・ジュリーの歌」から始まり、岩崎会長から「新講堂建設にあたり、建設費二千万円、綴帳千五百万円を目標に寄付を募り、おおよその金額が集まりました。同窓生の皆様の母校への愛が骨身に染み、同窓会会長をやつて良かつたと思つておられます。同窓生の皆様の心遣いや優しさに、心から感謝いたします。私も同窓会に携わつて長い年月が経ちますが、そろそろ後輩に譲りたいと考えております。新しく執行部に入つていただける方がいらつしやれば、若い力で同窓会を盛り立てていただければと思つております。」とのご挨拶がありました。

達がしっかりと心に留め、卒業生の皆様がいづまでも誇りを持つて『私の母校です』と言える学校方と力を合わせて取り組んでいきたいと思つております。現在、情報化社会となり便利になつていますが、それは良い面ばかりではなく、子供たちが学び、成長するためには、与えられるばかりではなく、自ら発見し、努力することが必要になつてくると思つています。どんなに便利な機器ができて、人を育てるのは人です。教員として、生徒とともに成長していかれたらと思つておりますので、これからもご支援をよろしくお願いいたします。」とのご挨拶がありました。

次に、二〇一六年度事業報告、決算及び監査報告を行い、二〇一七年度の予算が承認されました。その後、永年勤続の先生方の表彰が行われ、三十年表彰の三宅智香子先生のご挨拶(代読)、二十年表彰の池田恵先生のご挨拶がありました。また、岩崎会長から今崎校長へ新講堂建設寄付目録の贈呈があり、第一部を閉会しました。

第二部は、上田嘉治先生のピアノ演奏で始まりました。シューマン作曲フモレスケ作品二十より抜粋とショパン作曲の前奏曲集二十八より第十一番をご披露いただきました。上田先生のピアノの技術に驚かされ、その旋律は総会に鮮やかな彩りを与えてくださいました。続いて、同窓会コーラスによる合唱がありました。門野先生指揮の下、「美女と野獣」とNHK朝の連続テレビ小説「マッサン」の主題歌である「麦の唄」をご披露いただきました。どちらも大変馴染みのある曲であり、会場全体がその美しい歌声

に聴き入り、第二部を閉会しました。第三部は、中路教頭先生の乾杯のご発声により、昼食、歓談が始まりました。和やかな歓談の間に、来賓の先生方からお一人ずつご挨拶をいただきました。このように第六十二回同窓会総会は盛会の中、最後に出席者全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。最後になりましたが、幹事の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



同窓会総会のご案内

第六十三回同窓会総会を次のとおり開催します。
日時・平成三十年 七月二十九日(日)
午前十二時から午後二時
場所・ANAクラウンプラザホテル広島(旧全日空ホテル)
広島市中区中町7-20
TEL082(24)1111
詳細は最後のページをご覧ください。

学園関係物故者 慰霊祭ミサのお知らせ

本年は十一月一日ノートルダムホールにて学園関係物故者慰霊祭ミサが行われる予定です。同窓会本部にご連絡いただいている同窓生の物故者の慰霊も一緒にしていただいております。

クリスマスミサのお知らせ

毎年十二月二十四日十六時より、学校でクリスマスミサを行っています。ミサ後は茶話会も開かれます。二〇一七年は、イエス会の中村神父様によるミサが講堂にて行われました。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。ご一緒に主の御降誕をお祝いいたしますよう。

永年勤続表彰おめでとうございます



三宅智香子先生
30年(社会)

このたびは、同窓会の皆様より勤続を表彰していただき誠にありがとうございます。今日まで勤めさせていただけましたのも、同窓生の皆様、保護者の皆様、先生方に支えていただいていたからと、心より感謝いたしております。



池田恵先生
20年(体育)

このたびは同窓会より勤続二十年の表彰をしていただき、ありがとうございます。二十年という長きにわたり勤めることができましたのも、同窓生の皆様をはじめ、周りの方々の支えがあつてこそと感謝の気持ちで一杯です。

日々、目の前のことに追われ、慌ただしく過ごしている間に、気づくと三十年以上の年月が経っていました。自分の力不足のため、苦しい思いをしたこともありました。そのような時の大きな支えとなったのは、勉強、クラブ、委員会、行事などで頑張っている生徒の姿でした。

今は、二十一世紀生まれの生徒たちと日々接しており、時代の流れを感じる事が多いこの頃ですが、先生方や同窓生の皆様を受け継ぎ育ててきてくださった「清心の良さ」を、今の生徒たちも受け継ぎ、さらに発展させてくれるよう、微力ではありますが、これからも生徒たちと過ごす一日一日を大切にしております。これからの生徒たちも、励んでまいりたいと思っております。これからも、どうぞよろしくお願いたします。

原爆報道に携わって

広島テレビ放送(報道制作局) 五十二期 加藤紗千子

「報道記者になりたい!」と夢見て入社して、七年が経ちます。最初の五年は警察担当でした。

スクープを取るために事件現場を一日中歩いたり、警察幹部の自宅に「夜討ち朝駆け」したりと、慌ただしい日々でした。

一方で、私が志していたのは原爆報道でした。世界に二か所しかない被爆地で記者をするかには、世界に向けて被爆者の声を発信し、核兵器の危うさを伝えたいという思いが強まっていました。

そんな中、出会ったのが森重昭さんです。森さんは二〇一六年、平和公園でオバマ前大統領と感動的な対面を果たしたことで有名になりました。しかし、なぜ森さんがあの場に招待されたのかを知る人は、少ないと思います。

七十三年前にアメリカが広島に投下した原爆で、実は十二人のアメリカ兵捕虜も犠牲になっていました。その不都合な真実を四十年にわたりコッコツと調べてきたのが森さんです。サラリーマンのお立場でありながら、広島にはなかった被爆米兵の慰霊のための銘板を自費でつくりました。さらに、アメリカの遺族たちと手紙で連絡を取り合い、慰霊碑に納めてある原爆

死没者名簿に彼らの名前も載せるよう、広島市に頼んだのです。被爆者に敵も味方もないと、自らの行動でそれを示す森さんの生き方に大変感銘を受けました。森さんの協力を得て、二度にわたりアメリカにいる遺族を取材しました。そのうちの一人が兄を原爆で亡くしたコニーさん(当時八十二)です。「自国が開発した原爆で兄を亡くしたことをどう思いますか?」この質問をしなければ日本には帰れないと思っていました。おそろおそろ聞いた質問に、答えはノーコメント。あの時の表情は今でも忘れられません。彼女の中では、まだ戦争は終わっていないのです。

その後、被爆米兵の足跡と、森さんの功績を描いたドキュメンタリー番組を計五本制作し、大変ありがたいことに日本放送文化大賞・準グランプリと、民放連盟賞・最優秀賞をいただきました。視聴者のみなさまからの反響も大きく、私にとっても大変思い出深い取材となりました。

ところで、森さんとの距離が縮まったきっかけは「清心」と言っても過言ではありません。というのも、奥様の佳代子さんが清心の「お姉さん」でいらっしやっただけです。

それを知ってからご夫妻と意気投合したのを覚えています。休日米兵の調査に費やすご主人を支えてこられた佳代子さんのご苦労は大変なものだったと推察します。女性というのは本心に強いですね!

さて、広島での話題は専らカーブ。試合後は必ず「カーブ速報」を流します。ニュースの枠でもカーブを取り上げることが多くなり、最近では野球の原稿まで書かないといけないので大変です。目先の出来事に追われる日々ではありますが、世界が混沌とする今、原爆報道に携わる意味をかみしめながらコッコツと取材を続けてまいります。

皆様のご多幸、同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



右上: 森さんご夫妻のご自宅での取材
右下: 被爆米兵の写真
左上: 民放連盟賞授賞式にて

お元気ですか



国語科 伊賀壽雄先生

皆さん、お元気で過ごして下さるか？私は昨年、高・大全での教職をリタイアして、現在全くの自由人として暮らしております。近況報告を行えとのこと、以下、永らく指導した小論文形式により、述べさせていただきます。

Iタイトル「晴耕雨読とカーブ応援」で、少し調べ事」

II本文(5段階構成)①序論②本論「1」③結論

①序論・導入・完全リタイアして、何が嬉しかったか？それは何と言っても、朝寝が出来ること。生来の怠け者で、低血圧の私は、早起きが苦手で学生時代は講義に遅刻し、単位を落とすようになったこともありました。教師になつてからは勿論それは許されず、苦痛でしたが今、惰眠を貪る楽しみを享受して何事やら何物からの解放感に浸っております。

②本論

(一)晴耕雨読…まだ在職中の二十数年前に大して広くはないけれど、畑を購入して週末農業をしていました。結構大変でした。今や好きな時に行つてできるようにになりました。肥料散布し、畑土を耕起し、畝を立てて、目に痛いほどの汗をかいた後のビールは至福のものです。放送部OG家族が参加して芋植え・芋堀会もやったりしております。

そして雨読ですが、年金暮らしなので、お金はありませんが、時間はたっぷりあります。そこで図書館通いです。幸い私が住んでいる廿日市市の図書館は極めて充実しており、

高いレベルの蔵書があります。予算も結構あるようで、書評などで読みたいと思つてリクエストすれば大抵入れてくれて、これも大満足です。(本の選択・趣味が良い?)

(二)カーブ2連覇!…これは言わずもがなでしょう。歓喜の二年間でした。ただ、私個人として困るのは、チケット入手が困難になったことです。やっと取得した内野自由席でも入場開始前から長蛇の列!ナイター午後6時開始に二時前から並ぶのは、もうじき古希の身には厳しいものでした。しかし、リーグ優勝!並んだ甲斐はありました。今年も並びます!

(三)少し調べ事・ひよんなことから江戸時代後期の広島での「煎茶道」の草創や、その後の歴史について調べることのお手伝いに協力するところになりました。広島といえは抹茶道の方は「浅野家」ゆかりの「上田宗簡流」が余りに有名で、また勿論「裏・表千家」も広まっておりますが、実は「煎茶道」も流派多々あり、抹茶道より手軽で穏やか故、賑わい、流行したようです。(この度の調査のお手伝いは主として煎茶道「三癸亭賣茶流」です。)そこで、この紙面を使って申し訳ないのですが、もし、そのようなことに関心がおありだったり、資料・情報などお持ちだったりする方がいらしたら、伊賀までご連絡いただければ幸甚に存じます。

③結論…以上のような私の近況を一言で表せば、かの「吉田兼好」『徒然草』第九十三段曰く、「一人、死を憎まば生を愛すべし。存命の喜び日々を樂しまざらんや」です。どんなに平凡でも、つましくて、日々を生きていられているということの喜びを今になってこそか、味わつて大切にしております。どうぞ、皆様もお元気で。伊賀拜。

関東支部だより

三十七期 北村直子(真壁)

二〇一七年六月二十五日、東京都渋谷区青山学院大学そばのアイビーホールにて、広島からシスター小谷恭子と門野光伸先生、岩崎恵子同窓会会長をお迎えし、関東在住のOGに加え北海道や関西など全国からのご参加も含め総勢百二十八名が集い、二〇一七年度関東支部同窓会が開催されました。会に先立ち、昨年に帰天されたシスター渡邊和子をはじめ学園にご縁がある皆様を偲び、シスター小谷にご先導いただき一同で黙祷を捧げました。シスター小谷は、現在幼稚園の園長としてご日々たちとふれあう楽しいご日々

関西支部だより

三十五期 吉田和子(俵)

平成二十九年十一月十九日、大阪は梅田の「ガーデンシテイクラブ大阪」にて、関西支部同窓会を行いました。田口普美先生、加賀榮子先生、岩崎恵子同窓会会長を来賓にお迎えし、あわせて三十名が集いました。田口先生には、退職された先生方おひとりお一人の近況をお話いただきました。加賀先生は新講堂の完成していく様子を、授業のようにスクリーンを使って紹介してくださいました。岩崎会長からは、新講堂建設への寄付に加えて、綴帳を同窓会として寄贈できたことをお

を、門野先生は、現役清心生たちの昔と同じところ、違うところ、それぞれの様子をお聞かせくださいました。また広島から駆けつけてくださったデニス・タカラ先生からは、建設中の新講堂の様子をたくさん写真で交えご紹介いただきました。会の中盤では、一期生佐古孝子様より、ビーズ織りの素晴らしい作品をじゃんけん大会で勝ち抜いたOGにプレゼントいただくというサプライズイベントもありました。今回の同窓会では、マザージュリーの歌と校歌の伴奏を一新し、門野先生の指揮に合わせて歌ったところ、歌いながら涙するOGが続出するという光景もありました。広島から懐かしい先生方に足をお運びいただき、百三十八名もの多くの

話しいただきました。懐かしい先生方のご活躍や、変わらず美しい母校の姿に、皆さん嬉しそうな様子でした。参加者の「一人一話」では、学生時代の楽しい思い出やご家族、お仕事の話や、関西に来て同窓生同士の思わぬ出会いがあった話などを披露していただきました。また、ご病氣から文字通り奇跡的に生還された会に参加できたことへの感謝のお話には、心を打たれました。清心六十周年記念DVDを上映し、懐かしい映像に皆さんで歓声を上げて盛り上がり、その後、校歌斉唱で閉会となりました。少人数でアットホームな雰囲気、女子会となりましたが、初対面や卒業以来の再会であつて

OGが多方面で活躍されている様子垣間見、会場は大変な熱気とパワーに包まれ、改めて清心パワーを感じる素敵な一日となりました。



関東支部連絡先 関東支部長 25期 藤原泰江(城田)

関東支部ブログ <http://ndkanto.blog60.fc2.com> ※次回の関東支部会は 2018年6月24日(日)の予定です。



関西支部連絡先 関西支部長 14期 居藤信枝(大越)

※次回の関西支部会は 2018年11月11日(日)の予定です。

新講堂『ノートルダムホール』および教室棟完成

二〇一六年八月から始まった新講堂建設は二〇一七年十二月に無事完成いたしました。

二〇一八年一月二十六日にカトリック織町教会主任司祭のヴィタリ神父様をお迎えして、祝福式が執り行われました。

祝福式では、中高合唱部による聖歌隊と参列者の皆さんが歌う「マザー・ジュリーの歌」や校歌がホールに美しく響き渡りました。ヴィタリ神父様が「この門を出入りするすべての人が、あなたの平和と喜びで満たされ、あなたの祝福を世にもたらしめ、あなたを振りかけながら祝福をお与えくださいました。」



講堂全景

二月三日には落成式が行われ、初めて全校生徒が一堂に会して新講堂の完成を祝いました。

続いて二月一八日には音楽・美術書道展が行われ、保護者の皆様へのお披露目となりました。

同窓会からの寄付による綴帳を見た生徒からは「HPを見てどのようなデザインになるかは知っていましたが、実物は想像以上にきれいで感動しました。素晴らしいものをありがとうございます。」との感想が聞けました。

同窓会会員の皆様におかれましては、たくさんのご寄付をいただき、誠にありがとうございます。ぜひ学園祭などの行事にお運びいただき、新講堂と併せて生徒たちの活躍ぶりをご覧ください。



落成式 五期山下喜久子さん制作寄贈



正面入り口

一階 大講義室 小聖堂

一月二十六日の祝福式の後、小聖堂の献堂式が行われました。

今まで中学校舎にあったご聖体を小聖堂に移す儀式があり、カトリック研究会の皆さんのお手伝いにより厳かに行われました。

小聖堂には木製のベンチがあり、約五〇人が座れるようになっています。壁には「十字架の道行き」の聖画が飾られており、大変美しい聖堂です。



小聖堂



ホール

ホール

千二百人程度収容可能な規模のホールとなっております。入学式、卒業式、ミサ、音楽会、演劇会などの会場として使用予定です。

同窓会から寄贈されたなでしこをデザインした綴帳が花を添えています。内装には木がふんだんに使われており、荘厳でありながら温かい雰囲気にも包まれた空間です。このホールでの入学式や卒業式は、生徒にとって思い出深いものになるのではないのでしょうか。

二階 進路指導室 自習室

二階には進路指導室、自習室、大講義室があります。個別学習、大人数での一斉授業に対応できる充実した学習環境が整えられています。

三階 図書館

二〇一七年の年末から四万冊もの本の移動が進められました。図書委員会の生徒による手作りの本の案内がいたるところにあります。雑誌やパソコンも完備されており、充実した施設です。教室棟の三・四階は高校校舎と渡り廊下でつながっており、読書好きの生徒が足しげく通うことでしょう。



図書館

図書館の隣にはミーティングルームがあり、生徒がデザインしたヒマワリのモチーフが床に施されています。

この他にも新校舎内には、生徒デザインによるピクトサインや階表示のロゴが使用されています。また、講堂正面から入ったところにあるホワイエには生徒が協力して制作したタペストリーが飾られており、随所に清心らしさが感じられます。



生徒デザインによるミーティングルーム



トイレのピクトサイン



和室

四階 オールラ室 など

四階には、英語研究室、教室、オールラ室が二部屋あり、少数での英会話授業などが可能です。

五階 和室 大会議室

和室では、文化学習として取り入れられている茶道などを行います。明るく広々とした部屋になっています。

シスター津田新理事
新講堂落成式でご挨拶

今年二月三日、建築中だった新講堂が完成し落成式が執り行われました。シスター渡邊和子のあと新理事長に就任されたシスター津田葵が落成式で翠松会、同窓会、工事関係者、近隣地区の方々等々に心からの感謝を述べられるなどご挨拶されました。



シスター津田葵 プロフィール

ノートルダム清心女子大学卒業 上智大学大学院修士課程修了 米国ジョージタウン大学大学院博士課程修了

専門は社会言語学

ノートルダム清心女子大学教授・大阪大学大学院教授等を歴任

二〇〇七年大阪大学名誉教授

二〇一四年ノートルダム修道女会日本管区長

二〇一七年ノートルダム清心学園理事長



2017年 学園祭バザー

5月27日(土)28日(日)

マイショップ ⑩・⑪



寄贈品販売

18・19・⑳・21・22

2017年5月27日(土)28日(日)、
「Revolution」をテーマに学園祭が行われ、同窓会バザーも盛大に行うことができました。お忙しい中、快くお手伝いくださった同窓生の皆様と、会場へお出かけくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。

次のバザーは

2018年5月26日(土)・27日(日)

です。

皆様のお越しをお待ちしています。

(○は責任期です。)

フルーツケーキ

23・⑳・25・26・27・30
36・37・38・58・59



なでしこ医会

クッキー

28・29・31・32・33・34・㉓



植木 ㉔・50・60

うどん

㉕・41・42・43・44・45・46
47・48・49・53・54・55・56
57

お茶 51・52・61・62

なでしこの会



マイショップ 出店のご案内

バザーにご自身のお店を出してみませんか？
日ごろ仕事や趣味で手作りされている作品にご自分で値付けして販売し、売り上げの一部を同窓会にご寄付いただいています。

お問い合わせは同窓会事務局まで。

TEL082(271)1724(9時~12時)

同窓生の活動

なでしこの会

第三十四回なでしこの会展が、一月六日から九日、市内で開催されました。沢山の同窓生、お客様がご来場くださいました。オープニングパーティーには、岩崎同窓会会長、内海先生もご参加くださり、賑わいました。期間中、会場内ではワイクショップ(アクセサリー制作)も開催されて、参加者や来場者の交流の場にもなりました。

来年はいよいよ三十五回目になります。なでしこの会は素晴らしい会に育ちました。なでしこの会展と共に生きた三十五年間。思い出は、山のようにあります。会員達はファミリィです。これからもよろしくお願ひします。初参加の同窓生さま、大歓迎です！お待ちしております！

連絡先 同窓会事務局
TEL082(271)1724 (五時~土時)

ユリア会

例年、春分の日前後にカトリック信者同窓生の集い「ユリア会」を行っております。どうぞお気軽にお越し下さい。

連絡先 同窓会事務局
TEL082(271)1724 (五時~土時)



清心なでしこ医会

二〇〇三年に発足した同窓医師の会で、現在会員は一五八名です。毎年学園祭で骨密度測定・在校生の健診や医学的知識を深める講演などの活動をしています。

四月に総会を開いて会員の親睦を図り、昨年はND清心の神垣しおり先生と広島学院の阿部祐介先生に「ND清心と広島学院の近況」を講演していただきました。後輩のために、医学部での効果的な勉強の仕方・卒業後の進路・女医の仕事の仕方など、会員の多彩な経験を生かした助言できることも多いと思います。

今後とも地道に活動を続け、医療界に清心パワーを拡大し、同窓生の健康維持のお役に立ちたいと思います。同窓医師の皆様、入会をお待ちしております。

連絡先 なでしこ医会事務局
nadeshiko_ikai@kdc.biglobe.jp

料理教室

昨年十一月末に岩崎会長を講師に迎え、季節の料理を教えてくださいました。

メニューは、カモの酢煮、レンコンのお汁、ゴボウとこんにゃくの味噌煮、簡単かぶら蒸しの四品でした。季節の野菜をふんだんに



使っているのがあたたまり、またお正月のおもてなしにも使えるようなのばかりでした。

皆さんもおいしくヘルシーな料理を作りながら楽しいひと時を過ごしてみませんか。

連絡先 同窓会事務局
(担当・上相利恵)

dousoukai@hiro-seishin.ed.jp
TEL082(271)1724 (五時~土時)

コーラス

私たちは月二〜三回金曜日の午前中に練習しています。ある時は昔懐かしい曲や、今流行っている曲を歌い、またある時は若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。練習後のおしゃべり、食事会、レクも楽しいですよ。歌の好きな方は一緒に歌いませんか。

連絡先 同窓会事務局
TEL082(271)1724 (五時~土時)

英語を楽しむ会

和気あいあいとした雰囲気、次のような特徴をそなえています。

- ①生徒は皆同窓生である。↓同じ釜の飯を食った安心感、これは大きい！
 - ②かつてはND清心中・高卒レベルの英語力があつたはず！↓今では、ゼロに等しい。
 - ③先生は、十一期の三浦智世子さん。↓博識とは言え、同窓のよしみか生徒を見捨てないし、がまん強い。
- 各人の日常の話題から世界平和、はては比較文化人類学に至るまで、幅広い話題で楽しんで

います。どうぞお気軽にお運びください。どちら様も大歓迎です。

於 合人社ウエンディ
ひと・まちプラザ
第一・第三水曜日
十三時三十分〜十五時三十分

連絡先 同窓会事務局
TEL082(271)1724 (五時~土時)

山登り

「山登り」のおかげさまで、昨夏は美しい憧れの尾瀬の自然を、皆さんと堪能できました。マイナス一学期の私です。ので、担当を卒業し、どなたかがごく自然な形で「山登り」を今後へ繋いでくださるなら有難く存じます。

これまで、四期生〜三十七期生まで、遅い私を導き、北海道は礼文島から北アルプスの槍ヶ岳、九州の屋久島、さらには海外(中国、フィンランド、アイスランド、ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカなど)まで赴くことができました。いつも清心に守られていることを感謝しております。幸い健康には恵まれていますので、どこかで皆さまと一緒できますように。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

石川真智子先生より



後輩ニユース

○第四十一回全国高等学校総合文化祭二〇一七みやぎ総文
広島県代表クラブ
高校箏曲部／高校合唱部／高校古典文学研究部

【中高クラシックギター部】
・平成二十九年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール出場
【高校古典文学研究部】
・第二十回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会出場(広島県予選優勝)

【高校合唱部】
・NHK全国音楽コンクール中国ブロック銀賞
【中学放送部】
・第三十四回NHK杯全国中学校放送コンテスト朗読部門第三位

【中学水泳部】
・第五十七回広島県中学校水泳競技選手権大会
【しゅわっち(手話同好会)】
・第四回全国高校手話パフォーマンス甲子園十位

なお、ND清心のホームページでは、「今日の清心」というコーナーで、随時在校生・同窓生の活躍を更新しております。どうぞご覧ください。
<http://www.hiro-seishin.ed.jp>

同期会だより

一期

増田みどり(飯田)

二〇一七年十一月六日、瀬戸内海を望むホテルに、前回から二年ぶりに、一期生三十人が集まりました。

清心中・高校で初めて学んだ事を、その後の勉学、仕事、家庭や社会で活かし、成長してきたことを話し合いました。昨年のベストセラー、「九十歳。何がめでたい」に迫る「八十歳。何がめでたい」との迫力と活気にあふれていました。

まだ日本では「ボランティア」という言葉を聞いたこともなかった六十数年前の中学一年の英語の時間にシスターアロイズが、手伝いや小さい仕事を自ら進んで引き受けて欲しい時、「フウ・イズ・ザ・ヴォランティア?」(だれか手を上げる人?)と言われ、私たちは「ヴォランティア」を初めて学んだことなど、思い出話も楽しい同期の集まりでした。

また、新年度の役員も、この自ら手を挙げる精神で、拍手の

内に決定しました。当日参加者全員の記念写真は、興奮に紛れて、撮り忘れてしまったので、一期生の若々しい姿は、どうぞご想像ください。

二期

山田友實(繁田)

二〇一七年十一月九日、好天に恵まれ三十一名が集まりました。

ANAクラウンプラザホテル広島の一室は、かつての教室と化し、静止の合図でやっと幹事挨拶が始まりました。まず、恩師と友人を偲び黙祷を捧げました。皆、若づくりにしたつもりでも、白髪とシワは隠せません。マイクが次々とまわり近況を話しました。ゲームに夢中になり最後は校歌の斉唱で締めくくり、車で岡の辺の松風そよぐ学び舎へ向かいました。

玄関には優しい笑顔の後輩の先生が迎えてくれました。ゾロゾロと廊下を歩く大先輩は応接室に招かれ、恩師の孫にあたる先生の挨拶を受けたことに驚きました。

新講堂には入れず、立派な建設中の外観を眺めました。屋上から眼下の景色を眺めながら、昔歩いた通学路を皆で探しました。

図書室では本の多さに圧倒され、改めて優秀な生徒を送り出す清心のすばらしさを垣間見た思いがしました。

静かな聖堂では、マリア様のほほえみに会う事ができ、「よく来ましたね」と声が聞こえた気がしました。記念写真を撮り、私達を育んでくれた懐かしい思い出のつまった母校を後にしました。

二期会はこれで最後という事に決めました。今回の母校訪問



は、忘れていた記憶を甦らせてくれました。感謝の気持ちと、校訓である「心を清くし愛の人であれ」を胸に、これからも生きていきたいです。

五期

三戸栄子(佐々木)

八月初め、五期会開催のお知らせ《瀬戸内の多島美・厳島神社を船上参拝・おいしいランチ》が届きました。「日時二〇一七年十月四日(水)、場所ベイクルーズ銀河」イラスト、地図、交通手段の詳細な説明付でした。

この二十数年、参加できなかった私、運良く夫の介護の休養日、卒業以来五十数年経過した同級生達の近況も知りたく、即参加を決めました。併せて銀河勤務の知人がいたこともあり、ワクワクする思いで当日を迎えました。

定刻十二時に広島港を出港、瀬戸内海クルーズ様よりご寄贈いただいたシャンパンで乾杯しランチを開始しました。

近況報告を兼ねた自己紹介では、現役で歯科を手伝っている人、洋裁を長く続け今日の洋服も「手作りよ」とおっしゃる方、ケニアへ転勤のご主人に付き添って南半球で生活された方の

珍しい話、母校の文化学習を今もお手伝いされている方、得意のマリンパフォーマンスで福祉施設へ訪問をされている方など、参加者は二十三名でした。

皆様の前向きな生活態度に私も見習おうと大いに励まされました。

船上からの宮島参拝を終え、船は帰路へ。船内ではケーキタム。おいしいコーヒーのおかわりをしていると、「学校が見える!」全員が船の左舷へ、ホールスタッフが双眼鏡を持ってきてくださり、順番に覗くと山の上にかすかに母校が見え



ました。まるで卒業生を見守ってくださっているかのようには。クルーズが終わってもまだ話し足りないのを予想して近くのプリンスホテルで二次会も計画されており、きめ細やかに計画された幹事の皆様にお礼の言葉と再会を約束して散会となりました。

卒業以降初めて校歌やマザージュリーの歌を歌えたこと、懐かしい同級生の元気な姿に逢えたこと、母校の発展を心から願った一日でした。早くから準備された幹事の皆様、ありがとうございました。

十一期

石井しづせ(中丸)

二〇一七年十月十五日、前回前々回と同じ、広島駅前福屋十一階バンケットルームで開催いたしました。

案内状の「古希」という言葉が皆さまの琴線にふれたのでしようか、これまでにない三十九名もの参加でした。卒業以来とかずつとご無沙汰だったという人もかなりおられました。

近況報告では山あり谷ありの話を笑い涙で、あいにくの雨を吹き飛ばして共感しあったひと時でした。

遠方からの方は、空き家になった実家の片づけを兼ねてという話もあり、今の時勢を感じました。楽しい時間はすぐ過ぎました。「また次回も元気で会いましょうね」と笑顔で雨の中それぞれ帰路につきました。



十三期

小島冷子(桂木)

二〇一七年九月二十三日、中区銀山町「梅もと別館」にて、十三期の同期会を開催しました。卒業後三回目の会で、二十

六名の参加でした。日頃よりグループで時々会っておられる人達もありますが、連絡先を知らないために再会は卒業後五十年ぶりという人達も多く、懐かしい懐かしい再会でもありました。



まず、他界されたシスター渡邊和子、同期生の方々に黙祷を捧げ、会を始めました。一人ひとりの近況報告を聞くのは興味深いものでした。今流行の俳句の趣味を持っている方、ピアノを始めた方、先生としてピアノを教えている方、商売をしている方、教鞭をとっている方、そ

の他仕事で活躍を続けている方がたのお話を伺いました。七十歳前でも働いている方達がまだまだいらっしやることを知り、私達も元気をいただきました。手前味噌ですが、私達十三期は真面目に何事も一生懸命にする学年だと思っていました。やっぱりそうだったのかと確信しました。

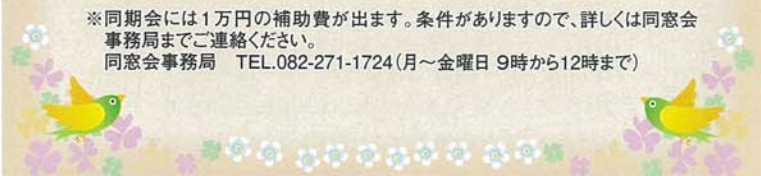
最後に、校歌とマザージュリーの歌を斉唱し(皆が覚えていたことにビックリ)楽しい二時間を過ごしました。



同期会リスト

開催日	期	場	所
2016/8/3	41	HIROSHIMA	MONOLITH
2016/12/28	39	A G	R I
2017/8/5	25	ラセ	ッテル
2017/9/3	27	広島国際	ホテル
2017/9/23	13	梅もと	別館
2017/10/4	5	広島バイク	ーズ銀
2017/10/15	11	濱登	久
2017/11/9	2	ANAクラウン	プラザホテル広島
2017/11/9	1	グランドプリンス	ホテル広島

※同期会には1万円の補助費が出ます。条件がありますので、詳しくは同窓会事務局までご連絡ください。
同窓会事務局 TEL.082-271-1724(月~金曜日 9時から12時まで)



なでしこ通信

四十四期 藤原朋美

私は日本の大学を卒業後フランスに渡り、パリ郊外の国立音楽院で室内楽と音楽理論とピアノの一等賞を得てディプロム(卒業資格)を取得し、その後、パリの音楽院でフォルテ・ピアノのコンサティエスタのディプロムや、クラブサンやオルガンの修了書も取得しました。

今は、パリ市と郊外の音楽院でピアノ教員・伴奏員として働いています。ソルボンヌ大学の教授たちとのレクチャー・コンサートや、講習会伴奏、パリや地方のお城や教会・美術館でのコンサート、歌手とのCD作製など、様々な音楽家とも幅広い音楽活動をさせていただき、刺激ある日々を送っています。



左端ピアノ演奏者が筆者

坂を登るたびに、変わらない清心の景色、温かく迎え入れてくださる先生方に懐かしさを覚え、思い出が蘇ってきました。今年にはノートルダムホールの完成という新たな清心の歩みが始まる記念の年となりました。清心に集まる皆様がより良い時間を過ごされますようお願いいたします。

最後にになりましたが、会報の作成に関わっていただいた皆様に心より御礼申し上げます。

田中あゆこ(島筒) 竹舛さやか(花園) 三浦 奈々(飯尾)

編集後記

同窓生の皆様へ

同窓会総会のご案内

ノートルダム清心中・高等学校同窓会 会長 岩崎 恵子

新緑の候、同窓生の皆様には、各方面にて、益々ご活躍のことと存じます。

さて、平成30年度同窓会総会を下記のとおり開催いたします。懐かしい先生方、同級生と久しぶりに顔を会わせて、楽しいひとときをお過ごしください。

お友達同士、お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

記

- 日時：平成30年7月29日(日) AM11:00~PM2:00
場所：ANA クラウンプラザホテル広島 (旧全日空ホテル) 広島市中区中町7-20 TEL082-241-1111
会費：5000円(当日会場受付にてお支払ください) 学生は半額(2500円)です。

総会次第

- ◎第一部 総会
◎第二部 コンサート 歌 寺田マイケル ピアノ 橋本桂子(41期) 同窓会コーラス
◎第三部 恩師を囲んでの歓談(昼食)

準備の都合上、出欠を同封のハガキにて6月29日(金)必着でお知らせください。なお、7月14日(土)以降の出席の取消については会費を徴収させていただきますのでご了承ください。

今年度総会の幹事は41期、51期です。連絡先 同窓会 082-271-1724(月~金9時~12時)

お知らせ

- ◇同窓会へのご質問、連絡は E-mail: dousokai@hiro-seishin.ed.jp TEL: 082-271-1724(月~金曜日9時~12時)
◇こちらもお覧ください ND清心中・高等学校ホームページ http://www.hiro-seishin.ed.jp ND清心中・高等学校同窓会ホームページ http://www.seishin.dosokai.com
◇執行部役員を募集しています。ご連絡ください。

同窓会会報 第五十二号 編集委員

- 四十二期 四十四期
児玉 美美(中井) 松本 智子(山本)
上野 三奈(内藤) 河村 愛子(松浦)
河村 歩(栗屋) 津川 瑞絵
水入真美子(山岡) 迫谷万里子(河野)
川上 晴美(西垣内)

四十三期

甲斐 亜弥(林) 田中あゆこ(島筒) 竹舛さやか(花園) 三浦 奈々(飯尾)

日々新たに

ノートルダム清心学園理事長
シスター 津田 葵



昨年の四月から学校法人ノートルダム清心学園理事長を拝命することになりました。

学校法人ノートルダム清心学園は一九二四年、アメリカ人修道女6名が来日し、岡山の地に清心高等女学校を開校し、ナミュール・ノートルダム修道女会の日本における宣教活動が始まりました。

広島での学校教育は中学校が一九五〇年、高等学校が一九五三年に設置され、今日に至っております。

シスター達は創立当初から学園区域内の修道院に起居しておりましたがこの度、半世紀以上の建物が古くなり、市内の平和大通りの一角に住まいを新たに移しました。これを機会に心機一転して、聖ジュリーの建学の精神に益々励んでみたいと存じます。

ノートルダムの 祈りと共に

名誉会長 学校長
神垣しおり



この度、今崎前校長から引き継ぎ、校長職を務めさせて頂きたくことになりました。私のような未熟者が仰せつかるという使命をいただき、唯々懸命に勤しむ覚悟しております。二十二期としての入学、そしてその後、ご縁あって母校に奉職し、恩師から渡されたバトンを引き継いでいくにあたり、祈りと思索を繰り返しております。

さて、かつて懐かしい裏山があった所に、新講堂・新校舎としてノートルダムホールが完成いたしました。同窓生の皆様方には、これまでのご奉仕の数々と多大な浄財、特に素晴らしいデザインと迫力

の緞帳をご惠贈いただき、心より御礼申し上げます。大切に使用させていただき、「心を清くし愛の人であれ」という教えを日々心に刻み、一層の教育活動の充実を図りたいと思っております。

清心の校舎といえは、四季折々の木々に映える赤い屋根が私は大好きで、特に市内から眺める度に、広島一、いや日本一の学校の風景と心の中で自慢しています。さらに、校内でも自然豊かな環境の下で学べるという大いなる恵みを感じています。その風景に赤い屋根・白亜の鐘楼の建物がある「平湯モデル」の新図書館の開館に続き、二月には音楽会・美術書道展がおかげさまで盛況に、三月には卒業式も厳粛に行われました。四月から全館を本格的に使用していく予定です。毎日、NDホール側(学校の北側)から見える朝日や夜景なども実に美しく、空を見上げながら、「大きな被害を受けた広島でこそ、心の平和を持つ子どもたちを育てたい」という創立期のシスター方の思いに

られますようにと祈る日々でもあります。

さて、創立七十年も近づいてまいりました。これまで同窓生の方々が築かれた伝統と共に、新しい時代を生きるにふさわしい学校として、一人ひとりの生徒たちと向き合い、聖ジュリーの播かれた種が芽吹き、生徒たちがそれぞれの大切な花を咲かせることのできるよう、教職員一同努力してまいります。なお、取り組みの一つとして、この場を借りて七十期生より制服をマイナーチェンジする予定であることをお知らせいたします。ポスターも作成いたしましたので、学校にお越しの際はご覧になってください。「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人ががわたしにつながっており、わたしもその人につながっているならば、その人は豊かに実を結ぶ。」(ヨハネ十五章五節)という言葉の通り、皆様との繋がりが人生の豊かな実りとなっていくますよう、聖母マリアの取り次ぎを祈りつつ、同窓会の益々のご発展を祈念してまいります。

新講堂建設募金 緞帳募金

寄付者芳名録(追加分)

- 一期C組 和田スミエ様(和田)
- 三期C組 阿佐 栄子様
- 四期B組 瀬良恵美子様(遠藤)
- 五期B組 原 豊子様(栄花)
- 六期A組 加藤里恵子様(有田)
- 六期C組 平野 秀子様(今井)
- 八期A組 石丸 静子様(宇和田)
- A組 落合 豊子様(中村)
- C組 木田 悦子様(遠藤)
- 九期C組 迫井佳代子様(中田)
- 十期C組 斉藤 杏子様(沖)
- 十三期A組 河部 洋子様(厚井)
- 十七期C組 板東 夕子様(長谷川)
- 三十四期D組 今村 玲子様(植木)
- 三十五期C組 高橋 庸様(井上)
- 四十期 A組 加来 恵美様(田中)
- 四十一期A組 向井小百合様
- 四十五期D組 宮田 佳奈様
- 五十八期A組 藤井 朋子様
- その他 なでしこの会様

(二〇一八年三月十五日現在)

皆様の善意に心よりお礼申し上げます。

ノートルダム清心中・高等学校同窓会

